

私は自然が好き、特に木が大好きです。気がついたら「木根芸猪名川」というクラブを創って、みんなと一緒に木の根っこや板を磨きあげ、置物やテーブル、衝立などの作品を制作していました。

2年ほど前から、自然の木を使って精密で正確なものを作ってみたり、町内の指物教室で学びながら自宅横の工房で、机・椅子・箆笥などの制作に励んでいます。

教室に入って楽しく学ぼうと、「上達したかったら難しい物に挑戦してみてください」という先生の助言を受け、孫の勉強机に挑戦しました。孫の好みや性格などを考慮して作品の構想を練りました。材質は菅の木を使い、孫の成長に寄り添うものになるよう、夢中で取り組みました。できあがった時には、孫は既に小学校で学んでいましたが、毎日喜んで使ってくれているのを聞くと、とても作りがいがありました。

ひのかみ とらはる
白野上 寅治さん (73歳)



木工工芸作家



自宅の工房で長椅子を制作中

※「瞬」の掲載希望者を随時募集中。詳細は町ホームページの募集情報を参照してください。

私のオススメ★

～猪名川町観光ボランティアガイドがご案内～

里人から愛されてきた福石神社

今月の担当ガイド



おくしば まさお
奥芝 正雄さん

今回は杉生の福石神社をご案内します。小さな森の中に高さ1.3m長さ3mの自然大石を祭った祠がひっそりとたたずんでいます。この大石にお祈りすれば福が授かると信じられ、昔から里人の信仰を集めていました。



▲福石神社と連理の枝

(※)の木は2本の木の幹・枝が一つになって成育して連理の枝となつています。連理の枝とは夫婦(男・女)睦(むつ)の仲睦(むつ)ましの契(けい)りをいいます。

唐の詩人、白居易が「比翼の鳥と連理の枝」と詠んだことに発しており、お祈りすれば夫婦が末長く仲良く暮らしていけると信じられています。

私たちの町は岩石・石を中心とした歴史文化遺産が数多くあり、大野山、屏風岩、多田銀銅山などが代表的で、それらと共に文化風土をも形成してきました。そして現在、約150体の石像が「彫刻の道」として文化を繋いでいます。

微惑星や小隕石が衝突を繰り返して約46億年前に誕生した地球。当時の地球はドロドロに溶けた溶岩の海で、地殻の表面が冷えるにつれて大気中の水蒸気が雨となって降り注ぎ海が形成されました。

最初はマグマの海(溶岩)そして冷えて岩石に、石となり水と土が出来るにしたがって生命が誕生してきました。すなわち岩石・石は生命の起源よりはるか昔に存在した生命のルーツといえます。

時の流れとともに少し風化した大石、里人から愛されて守られてきた福石神社、今も地元自治会が中心となって春に祭礼を執り行い人々の幸せを祈願し

ています。

私はこの地を訪れる度に大石とトラヨウの木の前で豊穰を祈り、収穫を感謝し、集った先人達に深い感銘を覚えます。大自然を敬い、信仰心深く、愛情深く、慎ましく生き抜いてきた先人達の心根が偲ばれるのです。ぜひご夫婦(恋人同士)で、里人から愛されてきた福石神社の自然大石と連理の枝を訪れてみてください。

※イヤシ科多羅樹の葉のことで紙が貴重な時代、紙の代用として鉄筆などでの葉にお経を書き移していました。



▶町観光ボランティアガイドの申込・問合せ 産業観光課 ☎ 766 - 8709

道の駅 いながわだより

12月の主な出荷野菜 生しいたけ・大根・白菜・人参・里芋・ブロッコリー・かぶ・ほうれん草・ゆず・ミズナ・ネギ・春菊

今月のピックアップ野菜

里芋 (道の駅での入荷時期 10～2月頃)

ホクホクとした食感と独特の粘りが特徴で、親芋を中心に子、孫、ひ孫と続いて芋がなることから子孫繁栄の縁起物とされています。煮物や味噌汁の具や揚げ物などでおいしく食べられます。

【選び方】

土付きで少し湿り気があり、ふっくらと丸みを帯びたものが良品です。



＜12月のイベント＞

- ◆年越しそば感謝デー開催！
- ◆年越しそばの電話予約受付中！
- ※詳細は、6ページに掲載
- ◆12月26日(木)～28日(土)午前9時～11時 正月用お花対面販売
- ◆12月29日(日)午前9時30分～午後3時 J A兵庫六甲ふるさと市

※年始は、1月7日(火)から営業します

▶問合せ 道の駅いながわ ☎ 767 - 8600

こども作品コーナー

白金小学校

▶バランスを考え力強く書けています。
中村 光さん(3年)

三年中人

▶ていねいな筆使いで書けています。
森田 愛さん(3年)

三年日



▶うんどうかいでおどった「はながさおんど」の大きなポーズです。
小野田 健太さん(1年)



▶落花生 さつまいも、ざくろ、とうもろこし、たくさんとれたよ。
土岐 花香さん(1年)